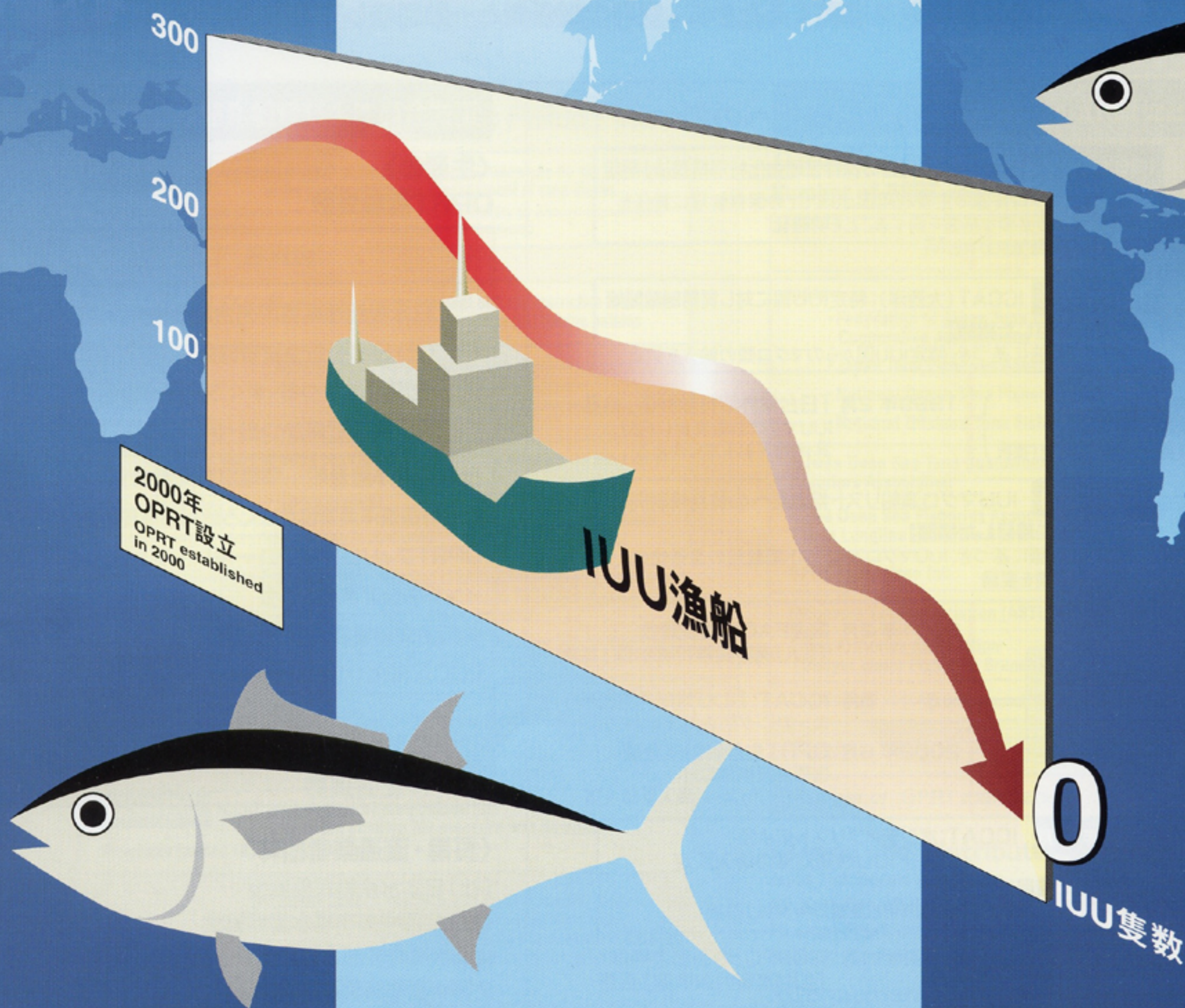


# OPRT

Organization for the Promotion of Responsible Tuna Fisheries  
〈社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構〉

## 2003年、IUUマグロ延縄漁船、解決へ大きく前進!

### Great Strides in 2003 for Solutions of IUU Tuna Longline Fishing Problem!



OPRTは、マグロ資源の持続的利用の確立をめざして、さらに活動を進めます。

The OPRT further promotes its activities to establish the sustainable use of tuna resources.

OPRTは、生産・貿易・流通・消費に関わるすべての人によって支えられています。

The OPRT is supported by all those parties involved with production, trade, distribution and consumption.

[www.oprt.or.jp](http://www.oprt.or.jp)

# FAO (国連食料農業機関)、地域漁業管理機関、関係国政府・業界が一体となった努力によって、「世界のIUUマグロ延縄漁船問題」は解決に向けて大きく進展しました。

●2000年12月、OPRTは限りあるマグロ資源の持続的利用を目的に、責任あるマグロ漁業を推進するために活動をスタート。世界の主要マグロ延縄漁業国・漁業者に協力を呼びかけ、日本、台湾、韓国、フィリピン、インドネシア、中国の漁業者団体がOPRTに加入し、世界の大型マグロ延縄漁船のほとんどすべてがOPRTに登録されました。

また、世界最大の刺身マグロ市場国・日本の貿易、流通、消費の団体もOPRTに加入し、目的達成のために協力しています。

●2003年、ポジティブリスト制度の世界的実施によって、「世界のIUUマグロ延縄漁船問題」は解決に向けて大きく進展しました。OPRTは、ポジティブリスト制度の実施状況をモニターし、IUUマグロ延縄漁船の防止・阻止・廃絶に引き続き努力します。

OPRTは今後さらに、FAOの責任ある漁業の行動規範に則り、過剰漁獲能力の抑制、混獲問題等海洋生態系・海洋環境の保全に向けた対策を推進するために、世界の関係者と一致団結して活動を進めていきます。

## IUUマグロ延縄漁船廃絶への道

1996年 6月 日本:「まぐろ資源の保存管理強化特別措置法」制定

日本は、マグロ資源の主要利用国として、その保存管理に責任を果たすため必要な措置を講ずることを明確化

1997年 9月 ICCAT (大西洋): 特定IUU国に対し貿易制裁開始

〔国に着目した措置〕  
ICCAT勧告に基づき、特定IUU国からのマグロ類の輸入を禁止

1999年 2月  
国連FAO水産委員会  
「漁獲能力管理国際行動計画」採択

1999年 2月 「日台業界間行動計画」合意  
IUUマグロ漁船廃絶に向けた  
具体的行動を取り決める

1999年 12月 IUUマグロ漁船リスト掲載船への貿易規制開始

〔IUU船に着目した措置〕  
ICCAT決議に基づき、IUUマグロ漁船リスト掲載船の漁獲物の  
商取引自粛を要請

IUUマグロ漁船による  
船名・船籍変更、漁獲物の  
ロンダリング等発生

2001年 2月 国連FAO水産委員会  
「IUU廃絶国際行動計画」採択

5月 ICCAT: 「IUU対策作業部会」  
ロンダリング防止対策等を検討

2002年 8月 OPRT生産者団体会議  
国際管理機関に対し  
ポジティブリストの導入要請決議

2002年 11月 ICCAT: ポジティブリストによる  
IUU漁業対策の導入決定

〔正規船に着目した措置〕  
ICCATで「ポジティブリストによるIUU漁業対策実施」採択

2002年 11月 WCPFC (中西部太平洋)  
「IUU漁業対策実施」合意

12月 IOTC (インド洋)  
「ポジティブリストによる  
IUU漁業対策実施」採択

2003年 2月 国連FAO水産委員会  
「ポジティブリストの世界的実施  
の必要性」合意

4月 「国際保存管理措置遵守促進  
協定」発効  
公海漁業に関する旗国の義務を規定

4月 日台業界間:  
「残存FOCマグロ漁船正常化」合意

6月 IATTC (東部太平洋)  
「ポジティブリストによる  
IUU漁業対策実施」採択

## 正式会員および登録漁船の状況 (2003年)

### 〈生産者〉

#### OPRT登録隻数

会員名		2003. 8 (見込み)
日 本	日本鯷漁業協同組合連合会 (社)日本鯷漁業者協会 全国遠洋かつお・まぐろ漁業者協会 (社)全国近海かつお・まぐろ漁業協会	482隻
	台湾区遠洋鯷漁船魚類輸出業同業公會	609
	(社)韓国遠洋漁業協会まぐろ延縄漁業委員会	176
	OPRTフィリピンインコーポレーテッド	17
	インドネシアまぐろ協会	14
	中国漁業協會遠洋漁業分會	105
	FOC正常化(バヌアツ・セイシェル)	69
合 計		1,472
OPRT正会員数		15

### 〈貿易・流通業者団体〉

(社)日本水産物貿易協会  
(社)全国中央市場水産卸協会  
全国水産物卸組合連合会  
全国水産物商業協同組合連合会

### 〈消費者団体〉

全国消費者団体連絡会

### 〈公益法人〉

(財)海外漁業協力財団

※FOCマグロ漁船…便宜的に船籍を移してIUUマグロ漁業を行う漁船のこと。

※IUUマグロ漁船…違法・無規制・無報告にマグロ漁業を行う漁船のこと。

※ポジティブリスト…ICCAT等マグロ資源管理国際機関によって認知された大型マグロ延縄漁船のリスト。

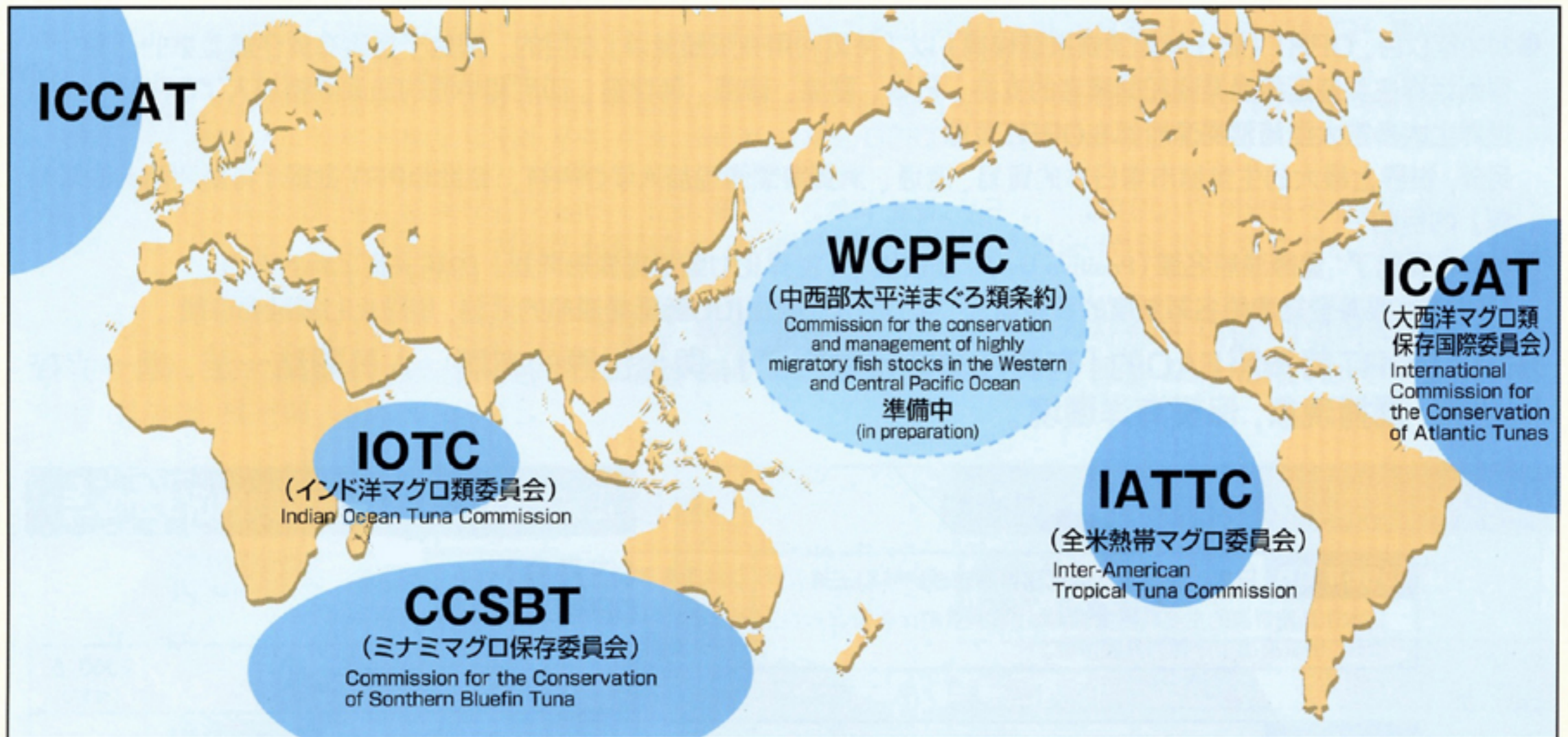
(ポジティブリスト掲載船以外のマグロの国際商取引は禁止となる)

# マグロ漁業関係国際条約 (管理機関)

## International Treaty on Tuna Fisheries (Management Organizations)

世界の海を回遊するマグロ資源を持続的利用するためには、国際的な資源管理が必要です。

The international management is essential for ensuring the sustainable use of tunas which highly migrate throughout the world.



### 日本は世界最大の刺身マグロ市場国

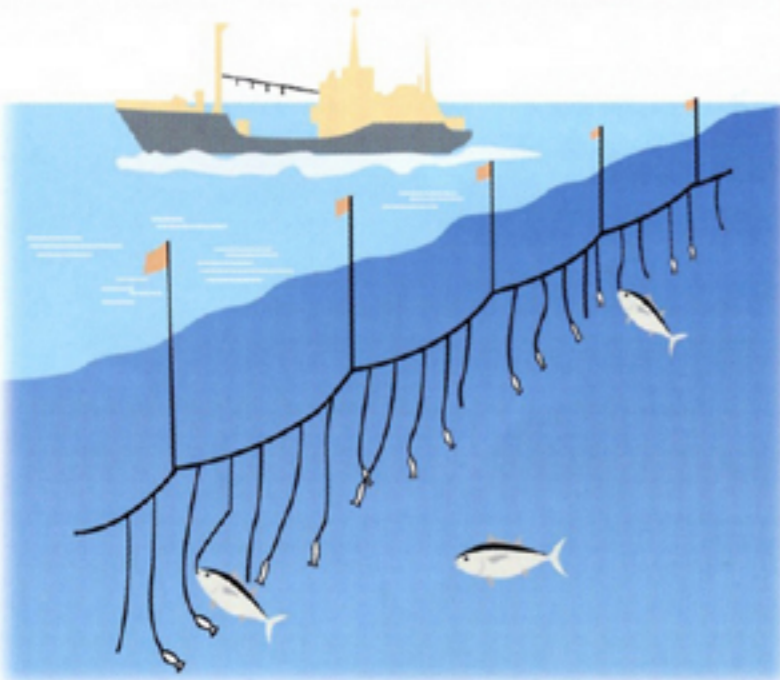
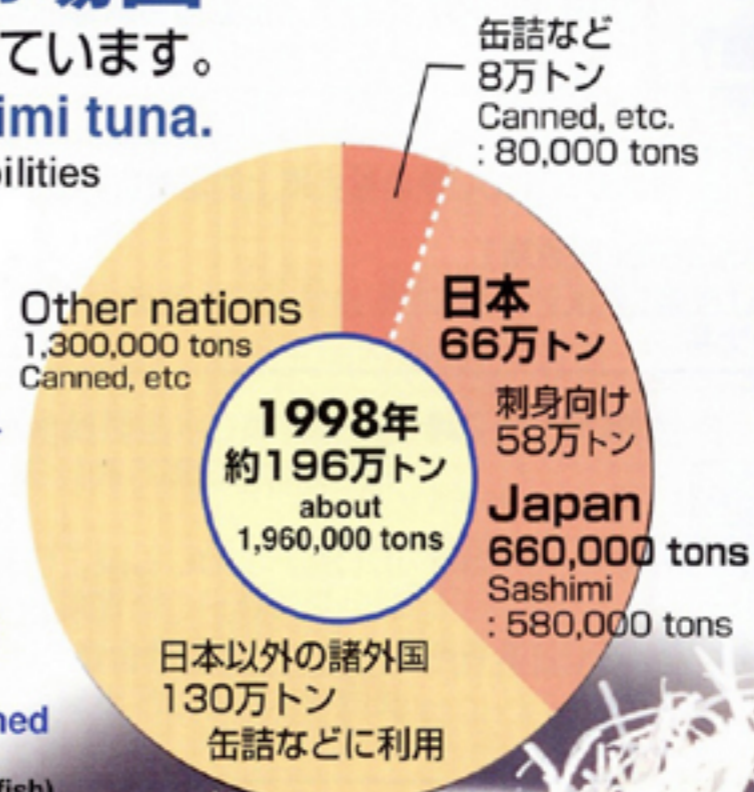
マグロ資源の保存・管理に責任をはたすことが求められています。

Japan is the world's largest consumer of sashimi tuna.

The international community expects Japan to fulfill its responsibilities for conservation and management of tuna stocks.



世界のマグロ類消費量  
(原魚換算)  
Amount of tunas consumed worldwide  
(conversion to round weight of fish)



**OPRT** (社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構) **Organization for the Promotion of Responsible Tuna Fisheries**

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階 TEL 03-3568-6388 FAX 03-3568-6389

Sankaido Bidg.(7th Floor), 1-9-13 Akasaka, Minato-ku Tokyo, Japan 107-0052

URL <http://www.oprt.or.jp>